

# 11月～12月の りた

時 開催時間 所 開催場所  
 ¥ 参加費用 定 定員(選定方法)  
 対 参加対象 申 参加方法  
 持 持ち物 該当テーマ

なごみん 66-8251

## 11/15 北部地域活動 報告交流会

北部地域で活動している活動団体の活動発表と交流会を行います。どなたでも自由にご参加いただけますので地域活力の再発見にぜひご来場ください。

時 13:00～16:30  
 所 北部地域交流センター・なごみんホールA  
 ¥ 無料 定 50名程度  
 申 直接なごみんにお越しください。

よりなん 59-3600

## ① 12/12 よりなん ②～12/25 クリスマス ③ 12/20

民生委員、市民活動団体、「よりなんサロン」の音楽団体さんとそれぞれコラボし、多様なクリスマスイベントを開催します。

①よりなんクリスマス会  
 時 10:00～11:30 ¥ 無料  
 所 南部地域交流センター・よりなん第1活動室  
 対 就学前までの子どもおよび保護者。  
 申 直接よりなんにお越しください。

②イルミネーションおよび館内装飾  
 時 9:00(点灯は夕方)～21:00

所 南部地域交流センター・よりなん全館  
 申 直接よりなんにお越しください。

## ③クリスマスミニコンサート

時 未定(午前を予定)  
 所 南部地域交流センター・よりなん交流スペース  
 ¥ 無料 対 どなたでも  
 申 直接よりなんにお越しください。

むらさきかん 66-3066

## 11/7 むらさき麦 食育講座

愛知学泉短大と共催で地元特産・むらさき麦を使ったクッキーづくりと食育講座を開催します。

時 10:30～11:30(小学生)  
 13:30～14:30(幼児)  
 所 東部地域交流センター・むらさきかん  
 ¥ 無料  
 申 事前にむらさきかん窓口にて申込

## 12/5 まち育てスクール 「福祉と協働」

これからの地域社会で課題となってくる「高齢者福祉」について、岡崎市内の2つの事例発表をもとに考えます。

時 10:00～12:00 ¥ 無料  
 所 東部地域交流センター・むらさきかん第3活動室A/B  
 申 <https://sys.okazaki-lita.com/cms/form/machi-sch>  
 会場に直接お越しください。

悠紀の里 57-5050

## 12/13 まち育てスクール 「協働はこうして起こせ」

市民初、市民参画の公園デザインプロジェクトにみる協働事例から、協働の段取り術について、座学と実践演習を通じて学べます。

時 10:00～12:00 ¥ 無料  
 所 地域交流センター六ツ美分館・悠紀の里  
 申 <https://sys.okazaki-lita.com/cms/form/machi-sch>

## 市民活動センター 23-3114

## 11/14 市民活動、ボラン ティア情報の紹介 in りぶらまつり

りぶらの一大会「りぶらまつり」にて、ボランティアや市民活動の情報提供を行います。

時 10:00～17:00 ¥ 無料  
 所 岡崎市図書館交流プラザ・りぶら  
 申 りぶらに直接お越しください。

## 11/15 まち育てスクール 「夢が叶うかもカフェ」

自団体だけでは実現が難しい(協働が求められる)プロジェクトの実現方法について、お茶を飲みながらアイデアを出し合うおしゃべりサロンです。

時 10:00～12:00 ¥ 無料  
 所 岡崎市図書館交流プラザ・りぶら会議室301  
 申 <https://sys.okazaki-lita.com/cms/form/machi-sch>

## まち育て推進チーム 23-2888

## 12/12 おとがわプロジェクト まちづくり ワークショップ②

おとがわプロジェクトの主要テーマについて第1回のワークショップで意見交換し、積み残した課題をテーマごとに開催する分科会で検討。その決壊を次年度のリーディングプロジェクト(先導的事業)案として発表します。

時 10:00～12:30 ¥ 無料 定 100名  
 所 名鉄東岡崎駅 岡ビル3F  
 対 中小企業経営者/個人事業主/起業家/デザイナー/学生  
 申 直接会場にお越しください。

まちのミカタ

# Litaracy

(りたらしい)

77  
2015年11月

## 特集: まち育てスクール開講 ～その時、 協働が起こった～

よりよい地域をつくるにはまず、各々が地域課題を自分事として捉え、最初の一步を踏み出すことから始まります。しかし同時に、自分一人では乗り越えられない数多くの壁が立ちあがるもの事実です。そのとき多様な主体を巻き込みそれぞれの強みを活かし、不足する部分を補うことで創造的な解決の糸口になりえるのが「協働」。「協働」なしにまちづくりは成しえないと言っても過言ではないかもしれません。

そこで、まちづくりの担い手として「協働」実践者を育てるべく、協働ノウハウが学べる「まち育てスクール」を企画しました。今号からはそのエッセンスを数回に分けて特集します。第1回はりたらしい71号でもご紹介した「松應寺横丁まちづくり協議会」の協働事例に学ぶ「協働の秘訣」です。

## A 連続コース

【全3回】学びから企画までの実践コース

10/17 sat 座学① step1  
 「その時 協働が起こった」  
 10:00～12:00 場所:やはぎかん

11/15 sun 演習① step2  
 「想いが現実を 突き動かす」  
 10:00～12:00 場所:図書館交流プラザ・りぶら  
 ～夢が叶うかもカフェ～

12/13 sun 演習② step3  
 「協働は こうして起こせ」  
 10:00～12:00 場所:悠紀の里

## B 単独コース

【全4回】毎回独自の視点から協働を考える

12/5 sat テーマ  
 「福祉と協働」  
 10:00～12:00 場所:むらさきかん

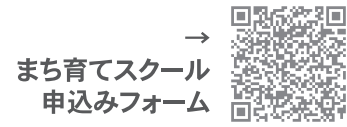
2/7 sun テーマ  
 「歴史と協働」  
 10:00～12:00 場所:なごみん

2/7 sun テーマ  
 「防災と協働」  
 14:00～16:30 場所:よりなん

2/13 sat 第5回  
 岡崎まち育て  
 フェスタ  
 時間未定 場所:やはぎかん

▲「まち育てスクール」のカリキュラム。企画から実践までが学べるAコースと、協働の実例を様々な切り口で体感できるBコースが用意されている。どちらも自身の活動の参考になりえるエッセンスが詰まった内容となっている。

# 特集：まち育てスクール開講 ～その時、協働が起こった～



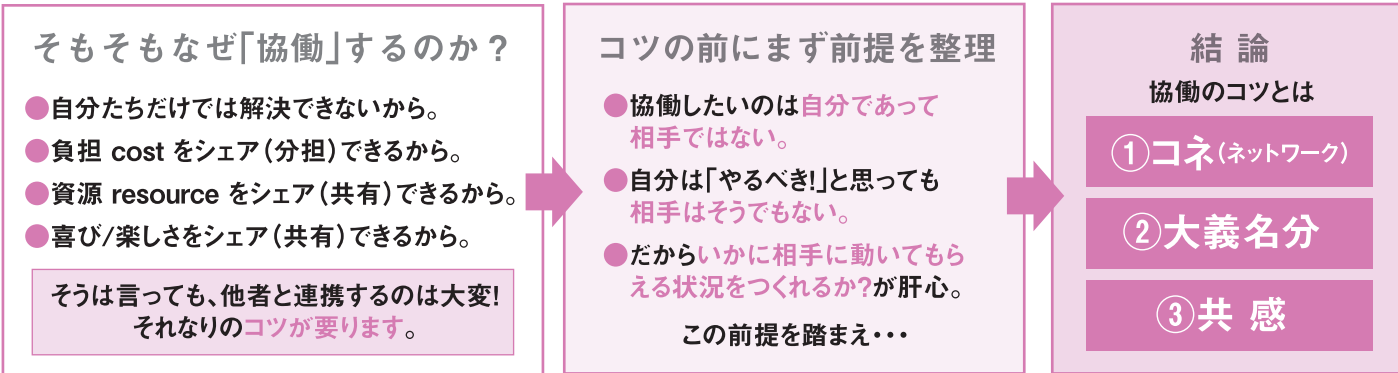
## ●第1回まち育てスクール「その時、協働が起こった」編 概要



▲レトロな街並みと再生の契機となった「松應寺横丁にぎわいプロジェクト」が仕掛けた祭りの様子。

連続コース第1回目となる今回は「空洞化した古い街並みに新しい息吹を吹き込んだ、松應寺横丁にぎわいプロジェクトに見る”協働”の秘訣」というテーマで、その仕掛け人の一人である「りた」事務局長天野 裕が講師を務めました。「松應寺横丁にぎわいプロジェクト」とは、空洞化が進む町「松本町」に住む人々と、その古いまちなみを遺したいNPO(よそ者)が思いを共有したことから発足した、松本町再生を目指すプロジェクトのことで(詳細はりたらしい71号参照)。彼らの活動はにぎわい創出のためのお祭り実施に始まり、空き家活用、にぎわいづくり拠点の整備、地域ぐるみでの高齢者の暮らしの支援など、様々な広がりを見せながら着実に地域課題の解決を生み出しています。地域住民とNPO(よそ者)が出会い、このようなムーブメントを起こした秘訣とは、いったいどのようなものだったのでしょうか。

## ●事例紹介の前に、そもそもなぜ「協働」するのか？そして、そのコツとは？



### ●「協働」のコツ①「コネ(ネットワーク)」

協働の第一歩は、協働先との関係づくりから始まります。特によそ者が地域に入っていく今回のようなケースでは関係づくりがかなり重要、かつハードルが高かったと言えます。地域住民とNPO(よそ者)との出会いは地域に出入りしながら総代や地域のお寺「松應寺」の住職と顔見知りになる、という個人の接点から始まりましたが、やはり地域に入っていくときには「よそ者」扱いです。その突破口となったのが同町のキーパーソン存在でした。そのキーパーソンが偶然にも「りた」の理事だったことから、その肝いりで地域に受け入れられ、また、「この景観を遺したい」よそ者と、「かつてのにぎわいを取り戻したい」という地域住民の想いを共有するきっかけになりました。地道に関係づくりをしていくことも大切ですが、協働したい相手が明確ならば、そこにつながるコネクション(=コネ)を模索すると、意外に道は拓けるものです。家族、友人、同僚の一步先に協働相手がいるかもしれません。

### ●「協働」のコツ②「大義名分」

関係づくりができていざ協働となった際、先述の前提に立ち返り、「いかに相手に動いてもらうか」ということを考える必要があります。協働はあくまで自分にとっての必要性ですので、「あの人が勝手に騒いでいる」とならないためにも、相手にとって協働する「必然性」を感じてもらい「大義名分」が必要です。この事例においては「住民アンケート」を実施し、「まちの少子高齢化や空き家増加は地域全体の課題である」ことを可視化し、共有しました。こうして住民全体の主体性を引き出す「当事者意識」を喚起することで協働が動き出しました。相手にとっての大義名分をどのように示すかが協働の重要なポイントと言えます。

### コネを使う際の注意点

○ この人が言うなら協力しよう! と思ってもらう。

✕ この人が言うならやらざるを得ないな...と思わせる。

コネを使う場合、「圧力」ではなく「共感」であることが重要です。

### ●「協働」のコツ③「共感」

協働を成功させる最後のポイント「共感」についての詳細は11/15開催の第2回まち育てスクール「想いが現実を突き動かす」～夢が叶うかもカフェ～編 天野めぐみさんの講演に続きます。次号をお楽しみに。

## 9月～10月のりた

### よりなん 10/24,25



### よりなん感謝祭

発表や作品展示および物品販売を通じて日頃の成果発表を行いました。見て楽しむだけでなく、団体の活動や作品づくりを体験をしたり防災について学んだりと盛りだくさんの内容となりました。

### むらさきかん 9/6



### むらさきかんフェスタ

むらさきかん全館を使い、むらさきかん利用団体の日頃の活動の成果発表と、市民との交流の場を提供しました。

### 悠紀の里 9/25～10/12



### 六ツ美百景展示会

六ツ美地域の魅力をあらためて発見する機会として市民の方に六ツ美の名所や行事、思い出の場所を撮ってきていただいた写真を展示しました。

### 悠紀の里 10/4



### 悠紀の里まつり

悠紀斎田の収穫にあわせ、稲刈り、わら細工などの体験イベントや、市民団体による活動発表などを行いました。

### 市民活動センター 9/5



### NPO 活動のための助成金セミナー

NPO活動や地域活動の資金調達の悩みや要望にお応えするセミナーを開催。NPO運営や資金調達の実例紹介、具体的な助成金申請書書き方講座を実施しました。

## まち育て推進チーム これからのビジネスを切り拓くデザイン活用講座

### 9/18 大学准教授が優しく教える「不安／悩み」解消編



「不安／悩み」解消編と題したSTEP.1では、岡崎女子短期大学准教授でプロダクトデザイナーでもある町田由徳氏を講師にお招きし、デザインに対する理解を深めることで事業者の不安や悩みを解消しました。

### 10/26 Oka-Biz デザインアドバイザーが熱く教える「商品／企画価値」向上編



Oka-Bizデザインアドバイザー稲波伸行氏に、事業者自身が成功にむけた状況をつくっていく方法や重要性、デザイナーとの関係性など、商品や企業価値を向上させるための独自の見解をご紹介いただきました。

## まち育て推進チーム 10/14 リノベーションまちづくりシンポジウム



ナビゲーターに清水義次さん、ゲストに嶋田洋平さんをお迎えし、リノベーションスクールや、北九州(北九州家守舎)、豊島(都電家守舎)でのリノベーションまちづくりの取り組みについてお話しいただきました。

## まち育て推進チーム 10/11 おとがわプロジェクトまちづくりシンポジウム



姫路駅の再開発における風格ある都市空間デザインの立役者、小林正美氏をお招きし、姫路での成果と課題から岡崎の街づくりの進め方について考えました。

## まち育て推進チーム 10/25 おとがわプロジェクトまちづくりワークショップ①



岡ビル百貨店3階にて、おとがわプロジェクトの主要テーマである「かわまちづくり」「龍田公園・中央緑道・人道橋」「歴史観光まちづくり」「賑わい創出」の4つについて意見交換会を行いました。

## 市民活動推進チーム 10/1,2 岡崎市自主防災リーダー研修



地域自主防災をテーマに、二日間にわたって座学、講演、演習など充実した内容の研修会を実施しました。